

## 早産期の前期破水について

### ○どんな病気？

妊娠 37 週になる前に、赤ちゃんを包んでいる膜が破れて羊水が流れ出た（破水した）状態をいいます。前期破水がおこると 1 週間以内に分娩となる可能性が高いです。

### ○原因

子宮の収縮や、膣から感染がおこることが原因の場合が多いです。

### ○治療

子宮内の感染を改善する（あるいは予防する）ために抗生剤を使用します。34 週未満で早産になる可能性が高いと考えられる場合は、赤ちゃんの合併症（呼吸障害・脳出血など）を予防するために、お母さんにステロイドの筋肉注射を行います。

妊娠 34 週未満の場合は状況に応じて妊娠延長を図ります。長くおなかの中にいることは赤ちゃんにとって成熟するというメリットがありますが、破水し羊水がなくなった環境では赤ちゃんの感染の危険が高まったり、赤ちゃんの元気がなくなったりする可能性があります。採血や胎児心拍モニタリング、超音波検査などを定期的に行い、赤ちゃんにとって一番よいと思われる分娩のタイミングを考えていきます。一般的に妊娠 34 週以降では赤ちゃんがおなかの外で生きる準備できていると考えられ、分娩にします。

